

＜問31 がんと診断された時から、自分らしい日常が送れていますか。【〇はひとつだけ】＞
 という設問に対して、「送れているが、満足していない」「送れておらず、満足していない」と答えた方に
 そう感じた理由を伺いました。

副作用で身体が不自由になった為日常生活に支障が出ている
時間や活動が制約されるので。
痛みがある
畑、花壇の世話（土いじりがよくない）に制限ができて、充実感が半減した。体力のおとろえもあり、副作用も少々でてきて、身体がだるい生活になった。
副作用による苦痛
体力がおちた
常に死の事を考える
手足のしびれが治療を続ける必要性からおさまらない。しびれの軽減があれば良いと思う。
人生設計において“ステージ4”の寿命はどの位なのか治療の進行状態に変更になっていくのか聞きたかった。
体力低下への不安
一応退職（閉社）したが、まだまだ仕事を続けたい。
再発、転移への不安。
副作用で慢性的疲労や虚脱感が、いつもつきまとう 力がなくなった 例えば30kgの米袋が持てない。今後の農稽（農業）に支障あり
思うように身体がうごかない
再発などの不安がある
体が思う様になってない
薬の副作用で体調不良になるから、あまり積極的に行動できない
放射線治療も37回終了、P. S. A数値も下がったが、常に再発のリスク有りとの事、将来に渡っても良悪の判断がつかず落ち着かない。
夏の暑さに加えて疲労感も相まって行動範囲が狭くなってしまっていること。味覚異常と食欲不振（抗ガン剤の影響？）で食に対して少し残念に思うこと
「喉頭がん」で初期であって手術後は33日間放射線治療をしたが、殆んど毎日、通院が大変だった。カラオケは歌えないし、大声を出すのもできなくなった、うがいもしにくくなった。

がんの再発・転移では、一生がん治療を受けなくてはならないと知り、副作用があるため以前のように仕事ができない。
生活の質や意欲の低下。
不安
自分らしさは保とうとしているものの、生活の質がグッと落ちてしまった。あまり心がワクワクする瞬間がなくなってしまった感じがする。
自分の体調によって思う様には動けない。
治療以前の様に体が動かない。
副作用と思われる症状継続中のため
がんが要因で体力が落ち行動できない。
足、腰、ヒザの痛みが有り、今は痛み止めをのんでいますが一向にカイゼンしません
家族の事が心配。
乳ガンで両方切除でしているので旅行した時がイヤです。ガンになったので仲良く付き合っていなくては。卵巣もしています。子供達もよくしているので毎日楽しい生活は送っています。
問30までは、初めての「がん」について答えました（その様に問われていると理解したので！）問31の答えは2つ目（多発性骨髄腫）3つ目（大腸がん）によるものです。
ガンそのものが無痛なのに副作用が苦痛
先行きの心配
体調が万全でないこともあり、遠出（関西内で）できない（不安がある）金銭面
仕事は楽しくしているが、「がん患者」だからと言われたいよう、周囲に気を使う。理解はして貰っているが、風当たりのきつい社員もいるため、どうも無理をしてしまう。
まだまだ仕事がしたいと思っていたが、体の部分的な所が、痛むので、出来ない。
温泉とかに行けなくなった。洋服とかも少しかわった。
これからの病状の経過に対する不安があることから
正社員からパートになった。
一回の通院に時間がかかりすぎて本人、家族の負担が大きい
身体・心・脳が十分に働いてこそが、私の日常。それらが、心地よく各々の役割を果たせていない故。

前立腺がんと腎臓がん（右側のみ）の摘出手術を受けたが、排泄について問題がある。“おとなのオムツ”によって対処しているが処置が正しくないのか問題が多発している。対処の方法があれば知りたい。
精神的に不安定になった。
以前の様な元気で活発な生活が遠のいた。
排尿
ガンの詳しい内容、説明がほしい
抗がん剤、ホルモン療法の副作用が続いている（味覚障害、ふらつき、発汗）日常生活に支障はないが本人にしかわからないしんどさがある
それなりに満足しているが、体力低下のため生活が制限されること。
がんになる前より疲れやすくなり、同じように動いたり働いたりできない。
投薬間の細かいケアー
体力、気力がおちた
抗がん剤による副作用のため足のしびれ
温泉に行けなくなった
仕事には行けているが家事まで気力体力がもたない
仕事が出来ない
「がん」という疾病（疾患）である故に、自分らしい日常生活を送っているつもりだが、“何かしらの制限”がかかるように思う。
前はもっと動いていたのが少しおとっている！
がんと診断された以上かかごは決めた 後は残して行く家族の事が心配だが
何かしら制限がある 毎週病院に行く必要がある
体力的、経済的な面で、全てに、“ひかえ目”に生活している
術後リンパ浮腫を発症、現在も半年に1回通院 弾性ストッキングの着用が欠かせない
就職のスタートが遅れてしまったこと。
今後のことへの不安や自分の予定に見通しがつきにくくなりいやおうなく行動が制限されてしまう
仕事を失くしたなくした事。治療の為に家計の負担となった事。未来に対して不安があって計画が立てられない事。
毎日、同じ生活なので、会話もなくストレスがたまる。もっと交通機関を充実してほしい。
次回の検診までの不安。又、ほぼ前と同じ生活だが消化器系のガンのため自分の思うように食事がとれない。

思うような行動が出来ない
パートナーを持つこと、子を持つことをあきらめている
治療に伴う副作用で、リンパ浮腫になり、両足のひざ下が痺れていて、加圧タイツの着脱で腰痛が悪化してヘルニアになり、現在歩くのが難しく、杖を使用している。
この先がどの様になるかがわからなかった 医師の説明が不足だったと思う
服薬 食事 抗がん剤治療 生理現象
定期検診にかかる費用 手術による後遺症で不自由
仕事・生計これからの課題が山積み
今は治療に専念しないといけない時なのに、家庭の方が心配でムリしてでも動いてしまう。夫婦間がギクシャクする時も多々あり、体がつらい時でも気を使うのがよけいにつらい。家族からのなにげないグチを聞くだけで気がめいる。
思うように身体が動かず、やりたい事ができない。食事、睡眠が満足に出来ない
何故自分がこんな目にあうのだと思いつけ、もんもんとしていた。
思う程身体が動かない（動きにくい）
脳腫瘍治療から8年後に放射線治療の影響から脳梗塞を発症し、その為に左半身にマヒが残りました。そのような事が起こる可能性を知っておきたかったです。又、リハビリが最悪で、今も左手が動かせずに生活しています。
味覚や食欲が無くなり、筋力もおちる 気分も悪い。
やはり毎月の治療費で、私のパート代だけでは高額医療を使っても生活が苦しいです。もう少しがんの人のためにも治療費をどうにかしてもらいたいです。
病院内の相談支援センターを2回受けたが、医師に寄り沿った対応の仕方で、自分でみつけるしかないと思っている
仕事の復帰が未だなので。
何が正解なのか…治りょうでなやむことが多い。
先々への不安が消えない。
日常生活はそれなりにできていますが、もう少し積極的な活動や社交的なことには参加できていない。体力的な不安もある。
思っていた結果が出なかった。
仕事復帰への不安。いつからか今まで通りの仕事がこなせるのか。

本人は仕事に戻れず家族も介護休業中。介護休業制度の見直しにより、職場の制度も改善されたが、休めるだけで収入もなく、名ばかり。経済的な不安もあり、満足には遠い。
最近では、体力も食欲も落ちて思うように行動出来なくなっている
独居高齢者の為、転移がんによる病気の進行が不安
副作用（手先、足裏のしびれ）に悩まされている為（抗がん剤点滴により）
化学療法（抗ガン剤）により日常生活に自分らしさが失われ、情神的苦痛を伴ないかなりの疑問が生じた。
薬の副作用により行動制限等せざるを得ない時がある。
元気に生活していますが、ふとした時にガンと言う現実には落ちこんでしまいます。メンタルが弱くなったと感じます。
副作用による体
抗ガン剤を2週間に1度点滴治療で通院。その間は自宅療養で過ごしているが、副作用もあり、思うような行動ができない。
自分らしい日常？って何なんだろうかと思いますが、毎日「癌に罹患している」「転移している」これからどうなっていくんだろう？と思わない日はありません
仕事などに気分的に乗らない。動きが悪い。思う通りに動きにくい。
耳鳴り、味覚異常、ビール、のみたい。
前向きに運動をとり入れているが体がしんどい時、心が痛む
薬の副作用がきつかった
体のほてりが発生した時があるが、夏季の異常気象によるものかの判断はむづかしい。
いつまで今のままの生活ができるのが常に不安
抗ガン剤の副作用症状がきつい日が多く不活発になっている
体力が少しなくなった。やせた。
体が満足に動かず、体力も無い、やりたい事が殆んど出来ない状態！何が楽し
やりたい事が出来なくなった。
体調不良が時々ある。
気持ちのうきしずみがあり、何もする気がおきない日がある為
食欲がなく、食事がおいしくない
毎日の生活の中でガンの症状により生活へのえいきょうがある。

障害による行動の制限があり治療費捻出のため就労するのがやっとなであり子供の学費等経済的にも苦しい。又再発の不安・脱毛等による外見の変化もあり自宅にこもりがちになる
以前に比べて行動範囲がせまくなっており、満足していない。
体力が落ち、満足した仕事、家事、スポーツが規制がかかり、自身でブレーキをかける事が多くなった。重たい物を持つことが出来なくなり、不自由になった。
行動が制限される。
主人からの、暴言を常にあびている。きげんの良い時はないけれど、ささいな言葉であると、勝手にキレておこり出しているのは心的に辛いです。これも乳がんになってから、受けとめできないのかも？
今の体の痛みを和らげる薬のみの処方を希望したものの、やはり年令的な事も有って、日常生活がだんだんと制限される様になり、ツライ。
生活のリズムが変り趣味の時間がなくなった。（園芸）
今後の生活に不安があり、どのようになるのか
副作用による見た目の変化や疲れやすさで行動的でなくなりひきこもりがちである
普段できていた運動などができなくなったため
すべてが変化したから
身体が思い通りに動かない、すぐに疲れる
治療をしたこと、がんの診断を受けたことで、職場において勤務の変更（正規→パート）があったことと、治療にお金がかかるため、自由に使えるお金が極端に減ってしまいいつも“がん”が先頭にくる生活に少し苦しさを感じている。
夫が仕事もせず、家の事もせず、何も助けてくれない。一日中、寝て、自分の好きな事だけするので、手数も、心もシンドイです
副作用で行動が制限される
まだ治療中の為
がんになっていなければ今まで通り仕事をしている自分の姿があったが、現在は、体を元にもどす事が優先なので治療が終わってからでないと満足出来ないと思います。
胃がんが4個あり 2つまで手術済。食事がままならない。
働きたいけど体力がついていかない、経営者ですが、従業員のお手本になれない、収入も不安定に。
経済的不安、心的不安によるメンタル異常によるQOL低下
抗がん剤による、体力の衰えの為、行動範囲が狭まった為

自由に歩いたり、立ったりするのが困難になり、外出する機会も減った。
今後の病状に対する不安
がんになる前の筋力、体力がない。
私はステージ4ですが、合う薬がないと言われ先行きの不安があり。先進医療の情報はテレビで紹介もありますが費用面で無理があり。
疲れやすい
近所の方には手術終の外見を、見られたくないので公表したくないので脱毛を見せたくない。ウィッグはあるが外出の時だけにしている。1日中は着けたくない。
運動が制限され腸を30cm切った為ヘルニアが出ている。
就業及び体力
周囲の人達が私に対して気をつかいすぎている
行動範囲が制限された
「毎日がひま」「無駄使いはできない」「しかし何かはしたい」「ボランティアはする気もない」とのはざまに迷っている日々
体がしんどいので友達にさそわれても断る事が多い 自分でコントロールせざるをえない
体力が充分回復しておらず、思うようにシフト（仕事）に入れない
仕事はやめて、現在はしていないため。
体調のいい日と悪い日があり、一日のうちで急に悪くなったりするので急に動けなくなり最後まで思った事が出来ない
行動がままならない
わからない
TS-1を服用しているので2週間服用、1週間休むの治療です。薬を飲んでいる間は、いろいろ副作用が出ている
副作用で思うように動けなかったり、寝ている時間が多い
化学治療の副作用になやんでいます。
治療内容が理解出来ていない。
自分の価値が今だに見いだせない。
副作用でつえがないと歩けない
普通の生活は送らせているがやはり身の自由が動きができない。体がしんどくなりいままでどおりの動きが出来ない

月・日の流れにより、年齢を重ねていくと、自分の病気の事ばかり考えてられない状況にある。介護する立場になって、自分の事は、二の次、三の次。
毎日苦しんでいる姿を見ているのがつらいです
尿痛がまだ有る為
以前より疲れやすくなった。
副作用がつらい
不安しかないから
精神的不安と体調不良の為のイライラ感と苦痛
がんが取り除かれないため不安です
体調が安定していなく、つかれやすく、こんきがなくなったから
副作用がきつく、からだも思うように動かせない
がん以前≠がん以後とはならない
いつ症状が悪化するかつねに不安です。健康になれないもどかしさがあります
今までのように飲んだり食べたりが自由に出来ない。腹一杯になると苦しい
病による体力の衰えにより、以前の日常生活（仕事、趣味）が充分に行なえない
●●へ引越しててから、がんになり自家にも行けないし友だちとも会えず仕事もできず、その辺ぶらぶらしても、つまらないと毎日思ってる
治療日数（通院）が増えた。
子どもがまだ小さく、一緒に思いきり遊んであげられなかったり、体が疲れやすく充分に動けないことが多々あり辛いです。
長期治療による、体力の衰えで、出来ない事が増えている。
常に再発、転移の恐怖がある
仕事ができない。
以前のようにスポーツが出来ないのが不満足なのか、1人でなんとか支障なく生きられているのが満足とするのか、わかりません
思ったより治療が長引いて、先が見えないことを不安に思うようになった
周囲の目を気にしてしまう
体が昔みたいに動けない。畑にも行けない。

食事の不快感と、今まで病気ひとつかかった事がないのに突然この様な病気になり、私の残りの人生こんなはずではなかったという落ちこみがあります。

就労できていない

足の骨折でなおらず、自由に動けない。

着る服を考えて買う。胸を気にしてしまう。

診断を受けた後から検査や入院治療が早く始まり、生活が一変してしまった。仕事も休職となっているが今後どうするか悩んでいる為今迄の身体的機能の低下を実感した時、外出範囲が縮小し自由に行きたい所、したい事を制限せざるをえない時間が増した。

術前術後の後遺症があり、つらいのと常にどこかで再発・転移したらとか考えてしまう

根気がなくなった

手術をしてから元の生活に戻れると思っていたが、思いもよらない事があって、日常生活に満足はしていない

仕事、私生活で体身の事中心になり自由に動けない

長期的な目標がもてていない。（本当はもっと先にも目を向きたい）日々目の前のことを終えて感謝する毎日です。

治療や治療費、副作用の関係で、気軽に旅行や遊びに行くことができないから。

なぜがんになってしまったのか？不思議な気持ちがずっとある。

がんの痛みなどで満足した生活は送れてない。

がん患者同志の交流がない

病院代にお金がかかり、生活費を削らなければならない。